

所属	看護医療学部 臨床検査学科	職位	准教授	氏名(学位)	山口央輝 (医師・博士(医学))	
所属学会	日本分子生物学会 日本質量分析学会 日本プロテオーム学会					
専門領域	プロテオミクス、質量分析、バイオインフォマティクス					
研究テーマ	マルチオミクスによる生命現象の解析					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫 (授業評価等を含む)	学生の主体性・自主性を主にした講義：8-10名程度の小グループでの講義を行ない、少人数である事の利点をさらに生かす為、学生の自主性や主体性を延ばす工夫を行なっている。 学生のプレゼンテーション能力の向上：頻回に、学習や実習した事について、学生自身発表の機会を与え、医療人としてのプレゼンテーション能力の向上にも努めている。					
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	学習したことをプレゼンテーションする場において“学生の聴講態度の改善”という目的で、評価シートを導入した。その結果発表を聞く態度が改善した。それらの成果を、医学教育誌において発表した。 “プレゼンテーション 評価シートを導入による学生発表会の改善” 医学教育 48(5), 323-325, 2017. 共著					
4 その他教育上特記すべき事項	医師として、X線撮影装置やCT, MRIを完備した、急患にも対応している救急指定病院において当直業務を行なっている。また、過去7年間にわたり、財団法人日本医療機能評価機構の認定病院で、地域精神科医療に貢献している病院において、入院患者の管理、精神疾患における救急外来への対応を行なっており、精神疾患に対する医療の現場での臨床経験もある。					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌 (および巻・号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	頁数
学術論文	Proteomic analysis of the effect of plant-derived smoke on soybean during recovery from flooding stress	共著	2018	Journal of Proteomics 2018 Jun 15;181:238-248.	Xinyue Li, Shafiq Ur Rehman, <u>Hisateru Yamaguchi</u> , Keisuke Hitachi, Kunihiro Tsuchida, Takuya Yamaguchi, Yukari Sunohara, Hiroshi Matsumoto, and Setsuko Komatsu.	
	UBL3 modification influences protein sorting to small extracellular vesicles	共著	2018	Nature Communications volume 2018 Sep 26;9(1):3936.	Hiroshi Ageta, Natsumi Ageta-Ishihara, Keisuke Hitachi, Ozge Karayel, Takanori Onouchi, <u>Hisateru Yamaguchi</u> , Tomoaki Kahyo, Ken Hatanaka, Koji Ikegami, Yusuke Yoshioka, Kenji Nakamura, Nobuyoshi Kosaka, Masashi Nakatani, Akiyoshi Uezumi, Tomihiko Ide, Yutaka Tsutsumi, Haruhiko Sugimura, Makoto Kinoshita, Takahiro Ochiya, Matthias Mann, Mitsutoshi Setou & Kunihiro Tsuchida	

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行 年月	発行所、発表雑 誌（および巻・号 数）等の名称	編者・著者名 （共著の場合 のみ記入）	頁数
学術論文	Detection and Identification of Potential Transglutaminase 2 Substrates in the Mouse Renal Glomeruli	共著	2018	Archives of Biochemistry and Biophysics, 2018 Dec 15;660:11-19.	Yoshimasa Ito, Hideki Tatsukawa, <u>Hisateru Yamaguchi</u> , Kazuo Takahashi, Kiyotaka Hitomi, Yukio Yuzawa	
	Identification by nano-LC-MS/MS of NT5DC2 as a protein binding to tyrosine hydroxylase: Down-regulation of NT5DC2 by siRNA increases catecholamine synthesis in PC12D cells.	共著	2019	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Sep 3;516(4):1060-1065.	Nakashima A, <u>Yamaguchi H</u> , Kodani Y, Kaneko YS, Kawata M, Nagasaki H, Nagatsu T, Ota A.	
	Phosphoproteomics reveals the biosynthesis of secondary metabolites in Catharanthus roseus under ultraviolet-B radiation.	共著	2019	Journal of Proteome Research. 18(9):3328-3341, 2019.	Zhuoheng Zhong, Shengzhi Liu, Wei Zhu, Yuting Ou, <u>Hisateru Yamaguchi</u> , Keisuke Hitachi, Kunihiro Tsuchida, Jingkui Tian, Setsuko Komatsu.	
	Analysis of O-glycoforms of the IgA1 hinge region by sequential deglycosylation.	共著	2020	Scientific Reports. volume 10, Article number: 671 (2020)	Ohyama Y, <u>Yamaguchi H</u> , Nakajima K, Mizuno T, Fukamachi Y, Yokoi Y, Tsuboi N, Inaguma D, Hasegawa M, Renfrow MB, Novak J, Yuzawa Y, Takahashi K.	
	近年の研究業績のうち、一部を掲載					

Ⅲ 主な学会活動

発表(報告)名等	単独 共同	発表年月	学会名等
(DDA による) ラベルフリー定量法を用いたタンパク質の網羅的な解析	単独	2019年7月12日	第12回 日本質量分析学会中部談話会(名古屋大学東山キャンパス ITbM1F 会議室)

Ⅳ 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2018年08月29日	ラベルフリー定量法を用いたタンパク質の網羅的な解析 82回創薬科学セミナー(名古屋大学創薬科学研究所)講師